

青の煌めきあおもり国スポ2026



第5日

第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」冬季大会スケート・アイスホッケー競技会第5日は4日、アイスホッケーを行った。成年は、青森が岩手と対戦。9-2で勝利し、2回戦へ駒を進めた。第6日は5日、スベードスケートとアイスホッケーを行う。（小嶋聖之）

アイスホッケー

【青森】		【岩手】	
反捕陣	FW	DF	GK
001	10	10	00
010	10	00	00
020	10	00	00
030	10	00	00
040	10	00	00
050	10	00	00
060	10	00	00
070	10	00	00
080	10	00	00
090	10	00	00
100	10	00	00
110	10	00	00
120	10	00	00
130	10	00	00
140	10	00	00
150	10	00	00
160	10	00	00
170	10	00	00
180	10	00	00
190	10	00	00
200	10	00	00
210	10	00	00
220	10	00	00
230	10	00	00
240	10	00	00
250	10	00	00
260	10	00	00
270	10	00	00
280	10	00	00
290	10	00	00
300	10	00	00

▽成年1回戦
青森 9 2 岩手

▽得点者【青】武尾、大久保、最上、中村海、高崎、武田、坂本、菅野、天白

【評】青森が岩手に地方の差を露せつけて快勝した。青森は第1ヒリオド（P）2分すぎ、武尾のゴールで先制。直後大久保がミドルシュートを沈め主導権を握ると、第2ク、3Pにも計4本のシュートを放って、着々と加点し、試合を決めた。

成年岩手に9得点



【成年1回戦・青森-岩手】第2ヒリオド16分すぎ、青森は大久保賢斗が決めたゴールをリフトアップ

11年ぶり頂点へ危なげなく

地元の名門に接戦に接しきながら11年ぶりの優勝に向け、初戦を危なげなく突破したアイスホッケーの成年青森。主将の武田裕大（八学大）は「応援はどても心強かった。最後は目指しているホッケーに近い」と感得の表情を浮かべた。

第1ヒリオド（P）2分すぎ、武尾秀康（工大二高）の先制ゴールを成切りに、次々とシュートを放った青森だったが、「初戦で緊張と固さがあり、足が止まる場面があった」と武田、相手の4倍近い19本のシュートを放ちながら、2得点にとどまった。

整米中のロッカールームで津口雄次監督が「もって走ってバックをゴール前に集めよう」と再確認して臨んだ2P以降は、攻勢を強め敵陣深く入り込み、リハワードや、素晴らしいパス回しからのゴールなど、多彩な攻撃で得点を重ねた。

2得点と気を吐いた大久保賢斗（八戸二中出、東洋大）は、所属する東洋大でも第1、2セットで活躍するホープで、「自分の強みは得点力と走力」と第1Pから積極的な攻撃参加。第2Pには、絶妙な位置取りでゴール前に切り込み、ゴール裏からのパスを迷わず強襲し、ネットを揺らした。

2回戦の相手は和歌山。P2が相手でも、個々がそれぞれの役割を果たし、チームファーストで勝ちたがりたい」と武田、「がむしやに抱負いプレー」を選手とするチームの戦いが幕を開けた。（大西雄之）

